

社会の変容 (19世紀)

[ 月 日 ]

1 \_\_\_\_\_ (在方商人)の登場 ← 2 在郷町(在方町)の成立

地主などが商人に成長、都市の大商人と対立 農村内で都市化の進行

問屋制家内工業から 3 \_\_\_\_\_ (4 マニユファクチュア)へ

⋮ 在郷商人などが工場を設立、近在の貧農が労働者 分業体制

天保頃から 絹織物・綿織物 <例>結城縞(下総) ※酒造では江戸前期から

※ 5 \_\_\_\_\_ …広範囲(国・郡) 在郷商人や豪農の指導で農民が行動 特権商人・領主に合法的に対抗

<例> 1823 摂津・河内で木綿・菜種の自由販売や干鰯の値下げを要求

※幕末には 6 \_\_\_\_\_ 一揆が増加…小作・貧農中心に小作地・質地の返還、村役人の不正追及を要求

(政治的要求)

諸藩の天保改革 7 有能な下級武士の登用 専売制の活用 洋式軍備の導入

8 藩営マニユファクチュアから洋式機械工場へ …→ 9 雄藩の登場

10 薩摩(鹿兒島)藩：下級藩士 11 \_\_\_\_\_ (笑左衛門)… 12 島津重豪・斉興が登用 ※のち自殺

- 負債整理…500万両→250年賦
- 13 琉球との交易(清との密貿易) \_\_\_\_\_ ↑
- 専売制の強化 <例> 14 黒砂糖(奄美三島)、硫黄、蠟(ロウ)、菜種など

→再建に成功 → 15 \_\_\_\_\_ (1851-58)による洋式技術導入… 16 集成館事業(製鉄・造船・紡績など)

17 長州(萩)藩：中級藩士 18 \_\_\_\_\_ …藩主 19 毛利慶親(敬親) (1837-69)が登用 のち失脚

- 負債整理…約8万貫(128万両)を37年賦
- 下関に 20 \_\_\_\_\_ …倉庫業・金融業
- 21 専売制の緩和 <例>紙・蠟(ロウ) ← 防長大一揆[1831]

→再建に成功 →洋式兵術の採用

22 肥前(佐賀)藩…藩主 23 \_\_\_\_\_ (1830-61)主導 「経済大名」「算盤大名」の異名

- 負債整理…8割は放棄・2割は50年賦
- 24 均田制…土地を商人・地主から小作人へ配分
- 専売制の強化… 25 陶磁器(有田焼)、石炭、蠟(ロウ)

→再建に成功 →洋式技術の導入 <例> 26 \_\_\_\_\_ (大砲製造のための溶鋳炉) …日本初

27 水戸藩…藩主 28 \_\_\_\_\_ (1829-60)が主導 専売(こんにやく・紙) 均田制

人材登用(29 藤田東湖ら) 水戸に 30 弘道館(1841) 31 水戸学の発展→尊王攘夷へ

32 土佐(高知)藩…藩主 33 山内豊熙(1827-48)が主導 下級藩士 馬淵嘉平ら(「おこぜ組」)を登用

財政緊縮・専売制などの改革 →豊熙の急死で失敗に終わる (次の藩主豊惇も急死)

→ 34 \_\_\_\_\_ ( ) (1848-59)…吉田東洋を起用して藩政改革 おこぜ組の復活

ほかに、 35 伊予宇和島藩[藩主 36 伊達宗城]、 37 越前(福井)藩[藩主 38 \_\_\_\_\_]など

39家齊 11代 1787～1837 財政の破綻・治安の悪化・商業の活性化・庶民文化の爛熟

☆40 の飢饉 (1833～39) …東北中心の冷害  
洪水など 江戸に御救小屋

→41郡内騒動(甲斐天保一揆) [1836]、  
42三河加茂一揆 [1836] など

43 (平八郎)の乱 [44 1837]

45陽明学者 46大坂町奉行所元与力

(私塾<sup>47</sup>洗心洞) 町奉行や豪商に憤慨 大坂で武装蜂起→幕府に衝撃

※家齊、將軍辞職→死去(1841)まで実権を握る…大御所時代

48生田万<sup>よろず</sup>の乱 [1837] …49越後柏崎で代官所襲撃 50モリソン号事件 [1837]

…大塩門弟を自称 (平田篤胤<sup>あつたね</sup>門下の国学者)

51 12代 1837～53 ※52蚕社の獄 [1839] 53三方領知替<sup>りょうちがえ</sup> (川越藩・庄内藩・長岡藩) [1840] の撤回など

<54 の改革 [55 1841～43] > 老中首座<sup>56</sup> ※家齊没後すぐ

A. 思想・文化の弾圧 ※南町奉行<sup>ただあき</sup> 鳥居忠耀<sup>ようぞう</sup> (耀藏「妖怪」) ↔ 北町奉行遠山景元

① 風俗取締令 (178回) <例> 58 為永春水 (人情本) の処分 59 合巻 も弾圧 相撲絵・浮世絵も

② 芝居の弾圧…小屋の移転、七代目市川団十郎ら追放

B. 経済政策

③ 60 株仲間の解散 [1841] …独占排除、仲間外の新興商人 (= 61 在郷商人) の取引を認める  
物価抑制が狙い → 経済の混乱 → 失敗 (1851. 62 株仲間再興令)

④ 63 (法) [1843] …江戸流入者の強制帰郷 → 離村・出稼ぎ禁止 農村の復興

⑤ 64 棄捐令 [1843] …旗本・御家人の救済 幕府分は半免、札差による貸付金は無利息年賦

⑥ 65 儉約令 …日常生活の細部に及ぶ <例> 富くじ、質屋、祭礼、料理

その他 物価引き下げ令、御用金徴収、貨幣改鑄

C. 海防策・危機管理

⑦ 66 天保の薪水給与令 [1842] …無二念打払令の撤回

⑧ 67 印旛沼手賀沼干拓 …増収と江戸湾の防衛 農政家 68 二宮尊徳 を起用

⑨ 69 [1843] …江戸・大坂周辺を直轄領に編入 (交換)

→大名・旗本・農民などの反対 (鳥居の裏切り) → 断念・忠邦失脚 (1843 翌年一時復帰)

→老中 70 [1843] …71 江川太郎左衛門 (坦庵<sup>たんあん</sup>)、ジョン万次郎らを登用 島津斉彬・徳川斉昭らと連携

…本名は英龍 幕臣 (72 伊豆蕪山 の代官) 73 尚歯会 の一員

74 高島秋帆 (砲術家) に師事 蕪山に 75 反射炉 建設

【正誤問題に挑戦】 <1991本試験、1992本試験より>

- X. 幕府は、天保の改革の際に上知令を出し、江戸・大坂周辺の農民の土地を取り上げようとした。
- Y. 長州藩の村田清風は、藩財政の再建をはかる一方、農民の不満をやわらげるため専売制を改革した。

社会の変容 (19世紀)

1 在郷商人 (在方商人) の登場 ← 2 在郷町(在方町) の成立

地主などが商人に成長、都市の大商人と対立 農村内で都市化の進行

問屋制家内工業から 3 工場制手工業 (4 マニファクチュア) へ

… 在郷商人などが工場を設立、近在の貧農が労働者 分業体制

天保頃から 絹織物・綿織物 <例> <sup>ゆうきじま</sup>結城縞(下総) ※酒造では江戸前期から

※ 5 国訴 … 広範囲(国・郡) 在郷商人や豪農の指導で農民が行動 特権商人・領主に合法的に対抗

<例> 1823 摂津・河内で木綿・菜種の自由販売や干鰯の値下げを要求

※ 幕末には 6 世直し 一揆が増加… 小作・貧農中心に小作地・質地の返還、村役人の不正追及を要求

(政治的要求)

諸藩の天保改革 7 有能な下級武士の登用 専売制の活用 洋式軍備の導入

8 藩営マニファクチュアから洋式機械工場へ … → 9 雄藩の登場

10 薩摩(鹿児島)藩：下級藩士 11 調所広郷 (笑左衛門)… 12 <sup>しげひで</sup>島津重豪・斉興が登用 ※ のち自殺

- 負債整理… 500万両 → 250年賦
- 13 琉球 との交易(清との密貿易)
- 専売制の強化 <例> 14 黒砂糖(奄美三島)、硫黄、蠟(ロウ)、菜種など

→ 再建に成功 → 15 <sup>なりあきら</sup>島津斉彬 (1851-58) による洋式技術導入… 16 集成館事業(製鉄・造船・紡績など)

17 長州(萩)藩：中級藩士 18 村田清風 … 藩主 19 <sup>よしちか たかちか</sup>毛利慶親(敬親) (1837-69) が登用 のち失脚

- 負債整理… 約8万貫(128万両)を37年賦
- 下関に 20 越后方 … 倉庫業・金融業
- 21 専売制の緩和 <例> 紙・蠟(ロウ) ← 防長大一揆[1831]

→ 再建に成功 → 洋式兵術の採用

22 肥前(佐賀)藩… 藩主 23 鍋島直正 (1830-61) 主導 「経済大名」「算盤大名」の異名

- 負債整理… 8割は放棄・2割は50年賦
- 24 均田制 … 土地を商人・地主から小作人へ配分
- 専売制の強化… 25 陶磁器(有田焼)、石炭、蠟(ロウ)

→ 再建に成功 → 洋式技術の導入 <例> 26 反射炉 (大砲製造のための溶鉱炉) … 日本初

27 水戸藩… 藩主 28 <sup>なりあき</sup>徳川斉昭 (1829-60) が主導 専売(こんにやく・紙) 均田制

人材登用(29 藤田東湖ら) 水戸に 30 弘道館(1841) 31 水戸学 の発展 → 尊王攘夷へ

32 土佐(高知)藩… 藩主 33 <sup>とよてる</sup>山内豊熙 (1827-48) が主導 下級藩士 馬淵嘉平ら(「おこぜ組」)を登用

財政緊縮・専売制などの改革 → 豊熙の急死で失敗に終わる (次の藩主 34 <sup>とよあつ</sup>山内豊悳も急死)

→ 34 山内豊信 (容堂) (1848-59) … 吉田東洋を起用して藩政改革 おこぜ組の復活

ほかに、35 伊予宇和島藩[藩主 36 <sup>むねなり</sup>伊達宗城]、37 越前(福井)藩[藩主 38 松平慶永] など

## 大御所時代と天保の改革

39 **家斉** 11代 1787～1837 財政の破綻・治安の悪化・商業の活性化・庶民文化の爛熟

☆40 **天保** の**飢饉** (1833～39) …東北中心の冷害

洪水など 江戸に御救小屋<sup>おすくいごや</sup>

→41 郡内騒動(甲斐天保一揆) [1836]、

42 三河加茂一揆 [1836] など

43 **大塩** (平八郎) の乱 [1837]

45 **陽明学者** 46 大坂町奉行所元与力

(私塾<sup>47</sup>洗心洞) 町奉行や豪商に憤慨 大坂で武装蜂起→幕府に衝撃

※家斉、将軍辞職死去(1841)まで実権を握る…大御所時代

48 **生田万** の乱 [1837] …49 越後柏崎で代官所襲撃 50 モリソン号事件 [1837]

…大塩門弟を自称(平田篤胤門下の国学者)

51 **家慶** 12代 1837～53 ※52 蚕社の獄 [1839] 53 三方領知替<sup>りょうちがえ</sup> (川越藩・庄内藩・長岡藩) [1840] の撤回など

<54 **天保** の改革 [55 1841～43]> 老中首座56 **水野忠邦** ※家斉没後すぐ

A. 思想・文化の弾圧 ※南町奉行<sup>ただあき</sup> 鳥居忠耀<sup>ようぞう</sup> (耀藏「妖怪」) ⇔ 北町奉行遠山景元

① 風俗取締令(178回) <例>58 **為永春水** (人情本) の処分 59 **合巻** も弾圧 相撲絵・浮世絵も

② 芝居の弾圧…小屋の移転、七代目市川團十郎ら追放

### B. 経済政策

③60 **株仲間の解散** [1841] …独占排除、仲間外の新興商人(=61 **在郷商人**) の取引を認める  
物価抑制が狙い →経済の混乱→失敗(1851. 62 **株仲間再興令**)

④63 **人返し令** (法) [1843] …江戸流入者の強制帰郷 →離村・出稼ぎ禁止 農村の復興

⑤64 **棄捐令** [1843] …旗本・御家人の救済 幕府分は半免、札差による貸付金は無利息年賦

⑥65 **儉約令** …日常生活の細部に及ぶ <例> 富くじ、質屋、祭礼、料理

その他 物価引き下げ令、御用金徴収、貨幣改鋳

### C. 海防策・危機管理

⑦66 **天保の薪水給与令** [1842] …無二念打払令の撤回

⑧67 **印旛沼手賀沼干拓** …増収と江戸湾の防衛 農政家68 **二宮尊徳** を起用

⑨69 **上知(知)令** [1843] …江戸・大坂周辺を直轄領に編入(交換)

→大名・旗本・農民などの反対(鳥居の裏切り)→断念・忠邦失脚(1843 翌年一時復帰)

→老中 70 **阿部正弘** …71 **江川太郎左衛門** (坦庵<sup>たんあん</sup>)、ジョン万次郎らを登用 島津斉彬・徳川斉昭らと連携

…本名は英龍 幕臣(72 **伊豆葦山** の代官) 73 尚齒会の一員

74 **高島秋帆** (砲術家) に師事 葦山に 75 **反射炉** 建設

【正誤問題に挑戦】 <1991本試験、1992本試験より>

X. 幕府は、天保の改革の際に上知令を出し、江戸・大坂周辺の**農民の土地を取り上げようとした**。

○ Y. 長州藩の村田清風は、藩財政の再建をはかる一方、農民の不満をやわらげるため専売制を改革した。